

小 児 感 染 症

※ 症状が異なることがあるので医師の指示に従ってください。

令和8年度

病名	症状	病原体	潜伏期間	登園のめやす	予防方法・その他
麻疹 (はしか)	高熱、咳、鼻水、結膜充血、目やに、口中に白いぶつぶつ(コプリック斑)がみられる。 顔や頸部に発疹が出現する。	麻疹ウイルス	8～12日	解熱した後3日を経過していること。	予防接種(定期) 患者と接触した場合、接触後72時間以内にワクチンを接種すれば、発病を予防できる可能性がある。
風しん (3日ばしか)	発疹が顔や頸部に出現し、全身へ拡大する。発熱やリンパ節腫脹を伴うことが多い。	風しんウイルス	16～18日	発疹が消失していること。	予防接種(定期)
水痘 (みずぼうそう)	発疹は顔や頭部に出現し、全身へ拡大する。斑点状の赤い丘疹から水疱(水ぶくれ)、 痂皮(かさぶた)となる。	水痘・帯状疱疹ウイルス	14～16日	全ての発疹が、痂皮(かさぶた)化していること。	予防接種(定期) 患者と接触した場合、接触後72時間以内にワクチンを接種すれば、発病を予防できる可能性がある。
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	発熱と耳下腺・顎下腺・舌下腺の腫脹・疼痛。発熱は1～6日間続く。片側が腫脹し、 数日後、反対側が腫脹することが多い。	ムンプスウイルス	16～18日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日経過し、かつ全身 状態が良好になっていること。	予防接種(任意)
インフルエンザ	突然の高熱、倦怠感、関節痛、筋肉痛、咽頭痛、鼻汁、咳等の症状が出現。	インフルエンザウイルス	1～4日	発症した後5日経過し、かつ、解熱した後3日経過していること。	予防接種(任意)
咽頭結膜熱 (プール熱)	主な症状は高熱、扁桃腺炎、結膜炎である。	アデノウイルス	2～14日	発熱、充血等の主な症状が消失した後2日を経過していること。	ワクチンや有効な治療法はない。手洗いの励行
百日咳	笛を吹くようなヒュー音の特有な咳が特徴で、連続性・発作性の咳が長期間続く。 咳と共におう吐することもあり、発熱することは少ない。	百日咳菌	7～10日	特有の咳が消失していること又は5日間の適正な抗菌薬による治療 が終了していること。	予防接種(定期)
結核	全身に影響を及ぼす感染症。一般に肺に病変をおこすことが多い。	結核菌	発病時期は様々 特に6か月以内に 多い	感染のおそれがないと認められていること。	予防接種(定期)
腸管出血性大腸菌感染症	症状のないものから下痢(水様便)、腹痛、血便が様々な程度で現れる。溶血性尿毒症 症候群(HUS)と合併し、重症化する場合がある。	ベロ毒素を産生する大腸菌 (O157、O26、O111等)	ほとんどの大腸菌 が主に、10時間～ 6日	感染のおそれがないと認められていること。	手洗いの励行、食品をよく洗い加熱する。
流行性角結膜炎	角膜の充血、眼瞼の腫れ、異物感があり目ヤニがでる。 片方の目で発症した後、もう一方の目に感染することがある。	アデノウイルス	2～14日	結膜炎の症状が消失し、感染のおそれがないと認められていること。	手洗いの励行、タオルの共用をしない。
急性出血性結膜炎	強い目の痛み、目の結膜(白眼の部分)の充血、結膜下出血が見られる。	エンテロウイルス	1～3日	感染のおそれがないと認められていること。	手洗いの励行、タオルの共用をしない。
溶連菌感染症	発熱やのどの痛み、腫れ、化膿、リンパ節炎が生じる。舌が莓状に赤く腫れ、全身に鮮紅色の発 疹が出る。発疹がおさまった後、指の皮がむけることがある。	溶血性レンサ球菌	2～5日	抗菌薬内服後、24～48時間経過していること。	手洗い、うがいなどの励行
ウイルス性胃腸炎 ノロウイルス	おう吐と下痢が特徴であり、脱水を合併することがある。 脱水症状に注意する。	ノロウイルス	12時間～48時間	おう吐・下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること。	手洗いの励行 おう吐物等に迅速かつ適切に対応すること。
ウイルス性胃腸炎 ロタウイルス	おう吐と下痢が特徴であり、しばしば白色便となる。脱水がひどくなる、けいれんがみられるなど により、入院を要することがしばしばある。	ロタウイルス	1～3日		予防接種(定期) 手洗いの励行
RSウイルス感染症	呼吸器感染症で乳幼児期に初感染した場合の症状が重く、特に生後6か月未満の乳児では 重症な呼吸器症状を生じ、入院管理が必要となる場合も少なくない。	RSウイルス	4～6日	呼吸器症状が消失し、全身症状が良いこと。	手洗い、うがいなどの励行
マイコプラズマ感染症	咳、発熱、頭痛のかぜ症状がゆっくり進行する。特に咳は徐々に激しくなり、数週間に及ぶ こともある。	肺炎マイコプラズマ	2～3週間	発熱や激しい咳が治まっていること。	手洗い、咳エチケットの励行
手足口病	口腔粘膜と手足の末端に水疱性発しんが生じる。また、発熱とのどの痛みを伴う水疱(水ぶく れ)が口腔内にでき、 唾液が増え、手足の末端、おしり等に水疱が生じる。	コクサッキーウイルス エンテロウイルス	3～6日	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること。	手洗い、うがいなどの励行
ヘルパンギーナ	高熱が数日続き、のどの痛み等の症状がみられる。咽頭に赤い粘膜しんがみられ、水疱(水ぶく れ)となり、間もなく潰瘍となる。	コクサッキーウイルス	3～6日	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること。	手洗いの励行
伝染性紅斑 (りんご病)	発熱、倦怠感、頭痛、筋肉痛等の軽い症状があり、その後、両側頬に蝶形状の紅斑が現れる。 四肢の発しんは、網目状、レース様の紅斑が出現する。	ヒトパルボウイルス	4～14日	全身状態が良いこと。	手洗い、咳エチケットの励行
伝染性膿痂疹 (とびひ)	水疱やびらん、痂皮(かさぶた)が鼻周囲、体幹、四肢等の全身にみられる。患部を引っかくこ とで、数日から10日後に隣接する皮膚や、離れた皮膚に新たに病変が生じる。	黄色ブドウ球菌 溶血性レンサ球菌	2～10日	病変部を外用薬で処置し、浸出液がしみ出ないようにガーゼで覆って あれば通園可能。	手洗いの励行、皮膚を清潔に保つ。
髄膜炎菌性髄膜炎	発熱、頭痛、おう吐であり、急速に重症化する場合がある。	髄膜炎菌	4日以内	医師において感染のおそれがないと認められていること。	予防接種(任意)。患者と接触した場合、24時間以内に抗菌薬の予防投与を受ける。
新型コロナウイルス感染症	無症状のまま経過する人もいるが、有症状者では発熱、呼吸器症状、頭痛、倦怠感、消化器症 状、鼻汁、味覚異常、嗅覚異常などが見られる。	新型コロナウイルス	5～14日	発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで ※無症状の場合は、検体採取日を0日目として、5日を経過すること	予防接種(臨時) 手洗い、咳エチケットの励行。手に触れる物の消毒。換気。
帯状疱疹しん ※	水痘に感染した者が、免疫能の低下、ストレスなどをきっかけに神経の走行に沿って、身体の片 側に発症することがある。	水痘・帯状疱疹しん ウイルス	不定	すべての発疹が痂皮(かさぶた)化していること。	予防接種(定期)水痘ワクチンの接種 患者と接触した場合、水痘未罹患や水痘ワクチン未接種の子どもについては、72時間以内に 水痘ワクチン接種を勧めている。
突発性発しん ※	軽度の痛みや違和感、かゆみがありその後多数の水疱(水ぶくれ)が集まり、紅斑となる。	ヒトヘルペスウイルス6B ヒトヘルペスウイルス7	9～10日	解熱し機嫌がよく全身状態が良いこと。	手洗い・うがいなどの励行
アタマジラミ症 ※	卵は頭髮の根本近くにあり、毛に固く付着して白く見える。ふけのようにも見えるが、卵の 場合は指でつまんでも容易には動かない。	アタマジラミ	10～30日 卵は約 7日で孵化する	治療を開始していること。(アタマジラミ発生確認書の提出)	水泳帽・くし・タオル・ロッカーを共用しない。
かいせん 疥癬 ※	かゆみの強い発しん(丘しん、水疱(水ぶくれ)、膿疱、結節(しこり)等)ができる。手足等には線 状隆起した湿しんもみられる。男児では陰部に結節ができることがある。かゆみは夜間に強くな る。	ヒゼンダニ(皮膚の一番浅い ところ(角層)に寄生する	約1か月	治療を開始していること。	手洗いの励行 下着等は毎日交換する。
伝染性軟属腫 (水いぼ) ※	1～5mm程度の常色～白～淡紅色の丘しん、しこりで表面にはつやがあって、一見水疱(水ぶく れ)にも見える。四肢・体幹等によくみられるが、顔、首、陰部等どこにでもできることがある。	伝染性軟属腫ウイルス	2～7週間		手洗いの励行 皮膚の保湿を保つ。
B型肝炎	ウイルスが肝臓に感染し、炎症を起こす病気で、急性肝炎と慢性肝炎がある。	B型肝炎ウイルス(HBV)	急性感染では45 ～160日		予防接種(定期)

園において重要な感染症を抜粋しています。 ※については感染症治癒届は不要

生駒市幼保こども園課 保育所における感染症対策ガイドライン(2018年改訂版)より抜粋